

青少年問題の悩みなどお気軽に

宇治こころの電話
24-0800

(日曜・祝日除く毎日午前9時～午後6時)

宇治市政だより

7/11

平成元年
(1989年)

第851号

発行 京都府宇治市
〒611 京都府宇治市
宇治琵琶33番地
電話 (0774)22-3141
編集 広報課
●毎月1日・11日・21日発行

市民の生涯学習を推進… 社会教育委員など決まる

この項、平成元年度・二年度の社会教育委員、公民館運営協議会委員、図書館協議会委員、図書館協議会委員が決定しました。社会教育委員は、社会教育についての計画立案をはじめ、教育委員の諮問に答えて意見を述べたり、委員会受けた事項について社会教育団体や指導者などに

助言指導を行います。公民館運営協議会は、公民館における各種事業の企画運営について、調査・審議のために審議、また、図書館協議会は、図書館の行サービスについて意見を述べます。今日の高齢化、高度情報化、国際化を急速に変化

する社会情勢と市民ニーズにこたえるため、的確な意見を述べたくことなること。委員の皆さんは、次の二年間、平成三年三月三十一日までです。

- ◎社会教育委員
◎和田浩二(〇) 刑井圭子 杉本康男 松田キ子 川勝邦泰 野村雄福 山一男 青山一雄 飯塚久子 尤幸平 藤谷眞草 笠嶋教雄 栗田修 森居研治 山西眞一 公民館運営協議会委員
- ◎図書館協議会委員
◎小坂慶美 南、北里良子、由昭 池本 大 太谷郁治 北西隆子 栗田修、久保中成夫、櫻井香枝、長谷部裕子、和田和夫 図書館協議会委員
- ◎池本用(〇) 豊久隆彦 藤原枝、竹中武彦、前川佳子、水野野子、前田栄子 社会教育課

歴史資料館
夏休み企画

おぐら 今と昔の巨椋池



宇治市の西部に広がっていた巨椋池。昭和の初めに干拓され、戦後は急激な都市化が進行した——写真パネルや生活用具によって、巨椋池の今と昔を紹介いたします。

写真や生活用具を展示

◆7月23日(日)～9月10日(日) ◆入場無料

私たちのまちは大きな池がありました。その池は、おぐらけと呼ばれ、人間だけでなく、鳥や魚、そして赤い花も、池とともに暮らしていたのです。

干拓

巨椋池は河川の工事などによって次第に水質が悪くなり、魚の数も減り、周りではマリヤという伝説も流行しました。また水害も多くなり、人々は少しずつ生活を変えていきました。そして今から五十年前、池は干拓され、その姿を消したのです。

新しい時代へ

かつての水面は、たまた田舎に、そして、みんなが住んでいる家もそこに建ち並びました。車が通るの音も、鳥の鳴き声も、水も、空も、すべてが、新しい時代へ、変わっていったのです。

水辺の民具

巨椋池は、宇治川・持木津川の三川が流れる大きな流れに、まぎれるように、京都盆地の最も低いところに形成された、いわば自然の



▲巨椋池では漁も行われていました



次は全国植樹祭の成功を

市民運動推進協 第4回総会

「新しい歴史に向かって走ろう」これは、昨年行われた京都府民のストロークで、この京都府民宇治市会場の原動力となつたのが、新しい歴史に向かって走ろう、宇治市市民運動推進協議会です。同協議会は、六月二十三日、同協議会を産業会館で開催。堀井信夫会長、求道の池本市長のあいさつの後、今年度の事業計画などが決められ、今後は平成二年に開催される全国植樹祭を目指して市民運動を進めていくことになりました。この日は雨の中、約二百人の会員が出席。関係者も参加し、よりよいまちづくりへの熱意があらわれていました。

宇治市議会 虚礼廃止を申し合わせ

ご理解とご協力を

宇治市議会は政治活動の公正を期するため、六月二十六日、金品その他の寄付行為の禁止と虚礼廃止の申し合わせを行いました。二、虚礼廃止の趣意、議決及び後援会の虚礼廃止のため、各種式典、諸行事(祝賀、慰問行事等)への手紙及び年賀状、暑中見舞い、お祝い、これに類するポスター等は出さない。なお、この申し合わせ事項は、社会通念上一般私人の交際範囲について妨げるものではないが、議員後援会その他議員を顕揚させる団体または個人の名で、選挙に對する見舞いのため等に申し合わせは適用する。

歴史資料館
午前9時～午後5時
(月曜日・祝日は休館)
折居 台1丁目1
番 1311

